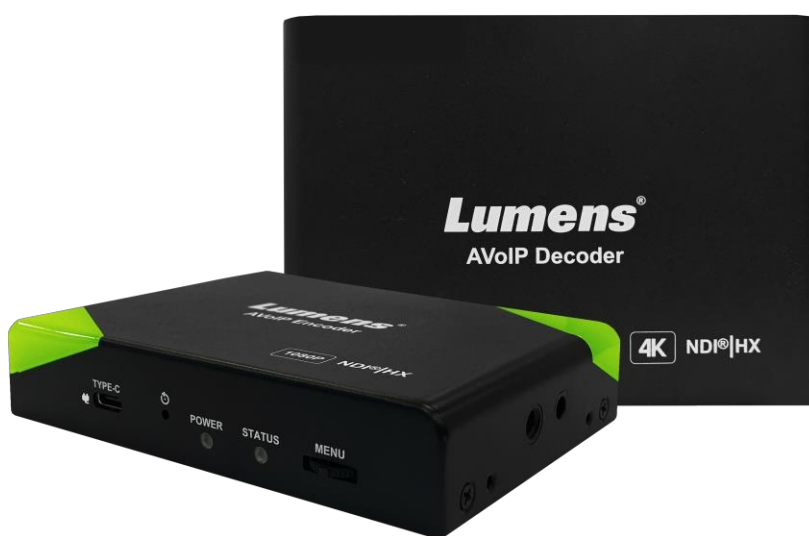


OIP-N40E

ユーザーマニュアル



[重要]

クイックスタートガイド、多言語ユーザーマニュアル、ソフトウェア、ドライバなどの最新版をダウンロードするには、Lumens <https://www.MyLumens.com/support> をご覧ください。

目次

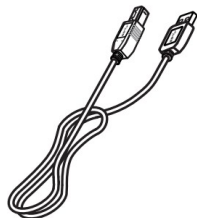
1章	パッケージ内容	2
2章	製品の設置.....	3
2.1	I/O インターフェース.....	3
2.2	製品の設置.....	3
2.3	インジケータ表示の説明	4
3章	製品操作	5
3.1	本体ダイヤルによる操作.....	5
3.2	ウェブページ経由での操作.....	5
4章	製品のアプリケーションと接続.....	6
4.1	HDMI信号源伝送ネットワーク	6
4.2	USBネットワークカメラ延長（OIP-N40E/OIP-N60Dが必要）	6
5章	設定メニュー	8
6章	ウェブページインターフェース	9
6.1	インターネットへの接続.....	9
6.2	Webページへのログイン.....	9
6.3	ウェブページメニューの説明.....	10
7章	トラブルシューティング	20
8章	安全に関する指示	21
	著作権情報.....	23

第1章 パッケージ内容

OIP-N40E



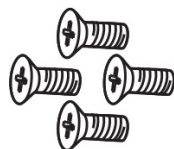
USB 2.0 ケーブル (1.8 M)(Type A Type C)



ロック用金属プレート (x2)

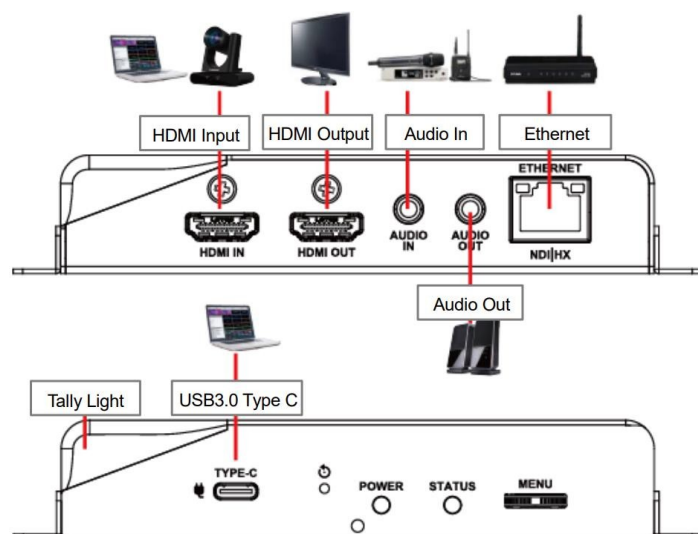


M3 金属プレート用ネジ (4x4)



第2章 製品の取り付け

2.1 I/O インターフェース



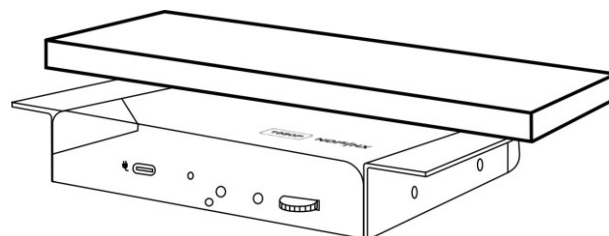
Note 高性能USB-Cケーブル（10Gbps以上）の使用をお勧めします

2.2 製品インストール

■ 付属の金属プレートを使用する場合

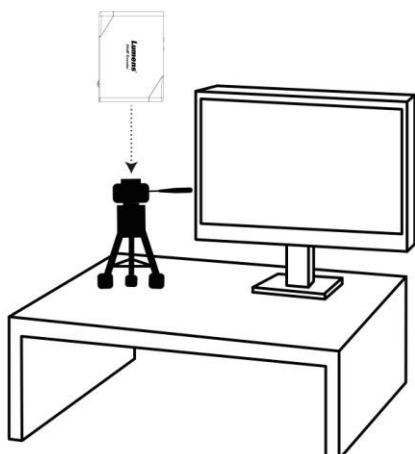
1. 付属の金属プレートをネジ（M3 x 4）で
OIPの両側にあるロック穴に固定します

2. 金属プレートを机やその他の表面に必要なに応じてネジ止めします



■ 三脚取り付け

側面にある三脚用ロック穴を使用して、OIP-N40Eを1/4"-20 UNC PTZ三脚デッキに取り付けることができます。

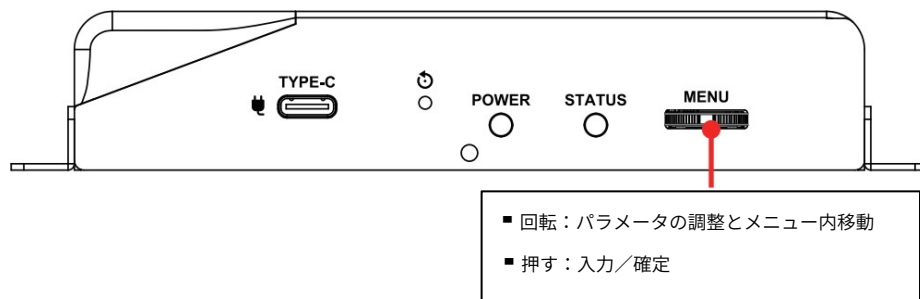


2.3 インジケータ表示の説明

電源ステータス	タリ状態	電源	スタンバイ	タリ
起動中（初期化）	-	赤色	-	赤/緑の点滅
使用中	信号	赤色	緑色	-
	信号なし			-
	プレビュー			緑色
	プログラム			赤色

3.1 ダイアルを使用した操作

HDMI OUTをディスプレイに接続し、メニューダイヤルを押してOSDメニューに入ります。ダイヤルを動かしてメニューを操作し、パラメータを調整します



3.2 ウェブページ経由で操作

(1) IPアドレスの確認

3.1を参照してください。ダイヤルを使用して、ステータスでIPアドレスを確認します（OIP-N40Eがコンピュータに直接接続されている場合、デフォルトのIPは192.168.100.100です。コンピュータのIPアドレスを同じネットワークセグメントに手動で設定する必要があります）。

Encode	Input	Network	Status
IP Address :		192.168.4.147	
Netmask :		255.255.255.0	
Gateway :		192.168.4.254	
MAC ID :		dc:e2:ac:03:50:3	
HDMI Output :			
FW Version :		01A0.00k	
			Exit

(2) ブラウザを開き、ログイン画面にアクセスするためにIPアドレス（例：192.168.4.147）を入力してください。



(3) アカウント/パスワードを入力してログインしてください

- アカウント：admin
- パスワード：9999

第4章 製品のアプリケーションと接続

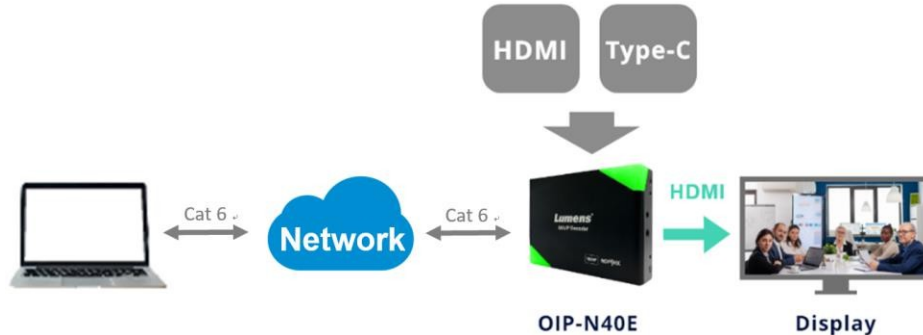
4.1 HDMI信号源伝送ネットワーク

OIP-N40Eは、IP経由で伝送するためにHDMIソースを変換します。

注：OIP に USB 接続を使用する場合は、USB 3.1 Gen2 (10Gbps) ケーブルが必要です。

(1) 接続方法

- HDMI または USB-C ケーブルを使用して、ソースデバイスを OIP-N40E の HDMI または USB-C 入力ポートに接続
- OIP-N40EとPCをネットワークケーブルでネットワークスイッチに接続
- OIP-N40EのHDMI OUTをHDMIケーブルでディスプレイに接続
- HDMIソースをOIP-N40EのHDMI INに接続し、信号ソースをキャプチャしてディスプレイに同期させます（パススルー）



(2) Webページ設定

[Stream] > [Source] で出力信号を選択 > [Stream Type] > [Apply]

(3) ストリーミング出力

VLC、OBS、NDI Studio Monitorなどのストリーミングメディアプラットフォームを開き、ストリーミング出力を受信します。

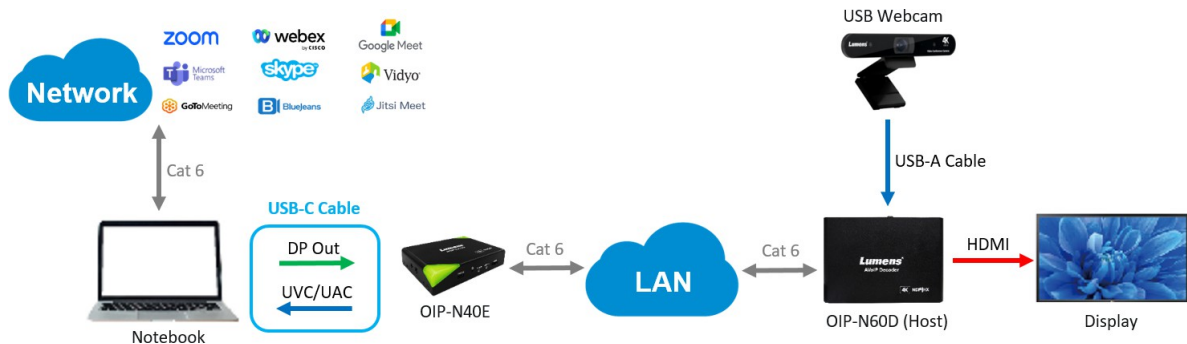
4.2 USBネットワークカメラ拡張機能（OIP-N40E/OIP-N60Dが必要）

OIPはネットワークブリッジをサポートします。OIP-N40EとOIP-N60Dを組み合わせることで、USBカメラの通信範囲をローカルエリアネットワーク上で拡張できます。

口注記：OIPへのUSB接続には、USB 3.1 Gen2（10Gbps）ケーブルが必要です。

(1) 接続方法

- OIPブリッジをローカルネットワークに接続
- USBカメラをUSB-AケーブルでOIP-N60Dに接続
- HDMIケーブルでモニターをOIP-N60Dに接続
- USB-Cモニター伝送ケーブルを使用してコンピューターをOIP-N40Eに接続



Note

- USB-C ケーブルを使用して OIP-N40E とPCを接続し、USB ネットワークカメラを使用できます
- OIP-N40EへのUSB-C接続を介してPCからディスプレイに映像を送信できます

(2) OIP-N60D ウェブページ設定
[Stream] > [Output]、USB Extenderを開く

(3) OIP-N40E Webページ設定

- [System] > [Output] > Extender Source リスト
- [Search new Source] > [Available] をクリックして OIP-N60D を選択 > 接続が「Connected」と表示されます

(4) USBカメラ画面出力

- Zoom、Microsoft Teams、またはお好みのビデオ会議アプリを起動します。
- ビデオソースを選択し、USB カメラの映像を出力します

Note ソース名：USB カメラ ID を選択

第5章 設定メニュー

ダイヤル [Menu] を使用して設定メニューに入ります。以下の表で**太字で下線が引かれている値**はデフォルト値です。

第1レベル 主要項目	第2レベル 小項目	第3レベル 調整値	機能説明
エンコード	ストリームタイプ	<u>NDI</u> HX/ RTSP / RTMP / RTMPS	ストリームタイプを選択
入力	HDMI入力元	<u>自動</u> / HDMI / DP	入力ソースを選択
ネットワーク	IPモード	静的/DHCP/自動	動的ホスト構成
	IP アドレス	<u>192.168.100.100</u>	<u>静的</u> 設定時に設定可能
	サブネットマスク (ネットマスク)	<u>255.255.255.0</u>	
	ゲートウェイ	<u>192.168.100.254</u>	
ステータス	-	-	現在のマシン状態を表示

第6章 Webページインターフェース

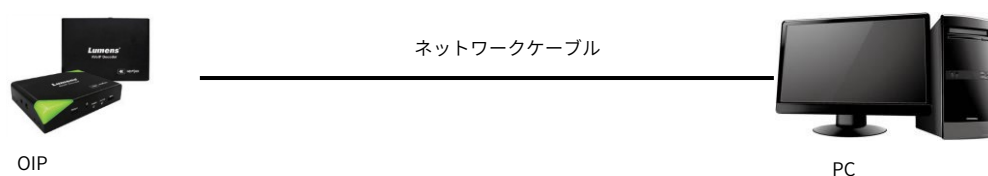
6.1 インターネットへの接続

一般的な接続方法を2つ以下に示す

1. スイッチまたはルーター経由で接続する



2. ネットワークケーブルで直接接続するには、キーボード/PCのIPアドレスを変更し、同じネットワークセグメントに設定する必要があります。



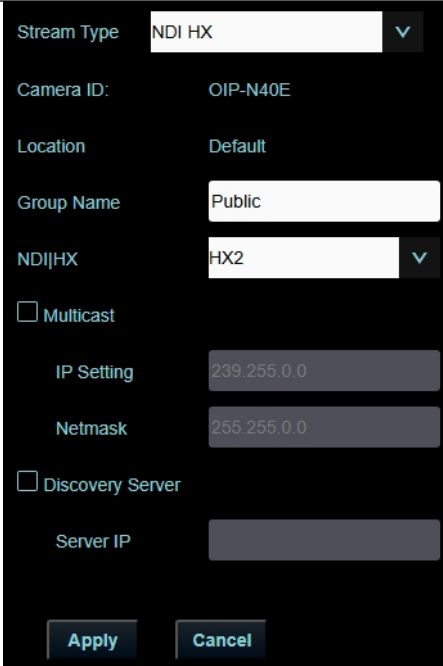
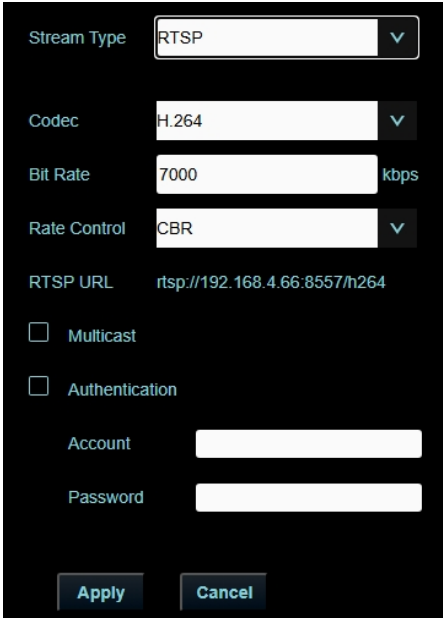
6.2 ウェブページにログイン

1. ブラウザを開き、IPアドレスバーにOIP-NのURLを入力例：http://192.168.4.1_4_7

2. 管理者アカウントとパスワードを入力

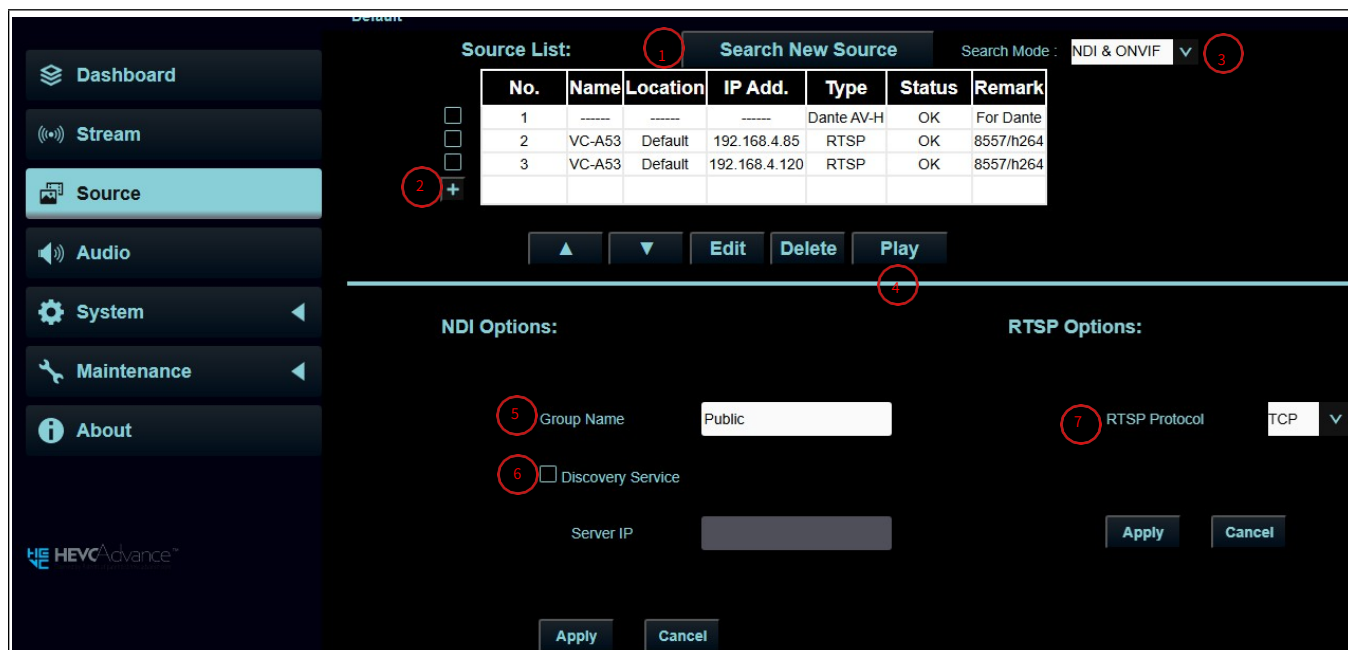
Note 初回ログイン時は、[6.3.8 システム - ユーザーを参照し](#)、デフォルトパスワードを変更してください

Lumens OIP Bridge	
●	アカウント: admin
●	パスワード: 9999 (デフォルト)

5.1	NDI HX	 ■ カメラID/位置: システム出力設定に基づく名称/位置表示 ■ グループ名: グループ名はここで変更可能。NDIツールの「Access Manager - Receive」で設定 ■ NDI HX: HX2/HX3をサポート ■ マルチキャスト: マルチキャストの有効/無効設定 Note 同時接続ユーザー数が4を超える場合はマルチキャストを有効化することを推奨 ■ ディスカバリーサーバー: ディスカバリーサービス。サーバーIPアドレスを入力するにはチェック
5.2	RTSP/RTSPS	 ■ コーデック（エンコード形式）：H.264/HEVC RTMP/RTMPS は H.264 のみをサポート ■ ビットレート：設定範囲 2,000 ～ 20,000 kbps ■ レート制御: CBR/VBR ■ RTSP URL: RTSP URLで画像を出力 ■ マルチキャスト: マルチキャストの有効/無効

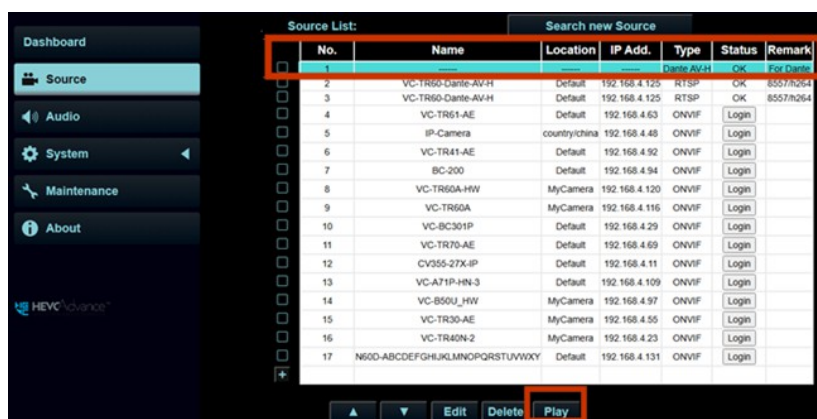
		同時接続ユーザー数が4を超える場合 ■ 認証：ユーザー名/パスワード認証の有効化/無効化 ユーザー名/パスワードは、Web ページログインのパスワードと同じです。 6.1.10 システム - アカウント情報の追加/変更
5.3	RTMP/RTMPS	Stream Type RTMP/RTMPS ▼ RTMP/RTMPS Server Status :Disconnection ☐ Require Password Authentication Account i Password RTMP URL Stream Key Bit Rate 7000 kbps Rate Control CBR ▼ Apply Cancel ■ RTMP URL：RTMP URL を入力 ■ ストリームキー：ストリームキーを入力 ■ ビットレート：2,000 ～ 20,000 kbps ■ レート制御: CBR / VBR から選択 ■ 必要なパスワード認証：認証を有効化／無効化
5.4	Dante AV-H	Stream Setting: Stream Type Dante AV-H ▼ Dante AV-H 機能を有効にするには、Dante を選択してください。

6.3.3 ソース



	項目	説明
1	新しいソースを検索	クリックすると、同じネットワークセグメント内のデバイスを検索し、リストに表示します
2	+追加	デバイスを手動で追加
3	検索モード	NDI&ONVIFからの検索、NDIのみ、ONVIFのみ
4	再生	デバイスを選択し、クリックして再生
5	グループ名	グループ名はここで変更可能であり、NDIツールの「Access Manager - Receive」で設定できます
6	ディスカバリーサービス	ディスカバリーサービス。サーバーIPアドレスを入力するには選択してください
7	RTSPオプション	TCP と UDP から選択

Dante コントローラー

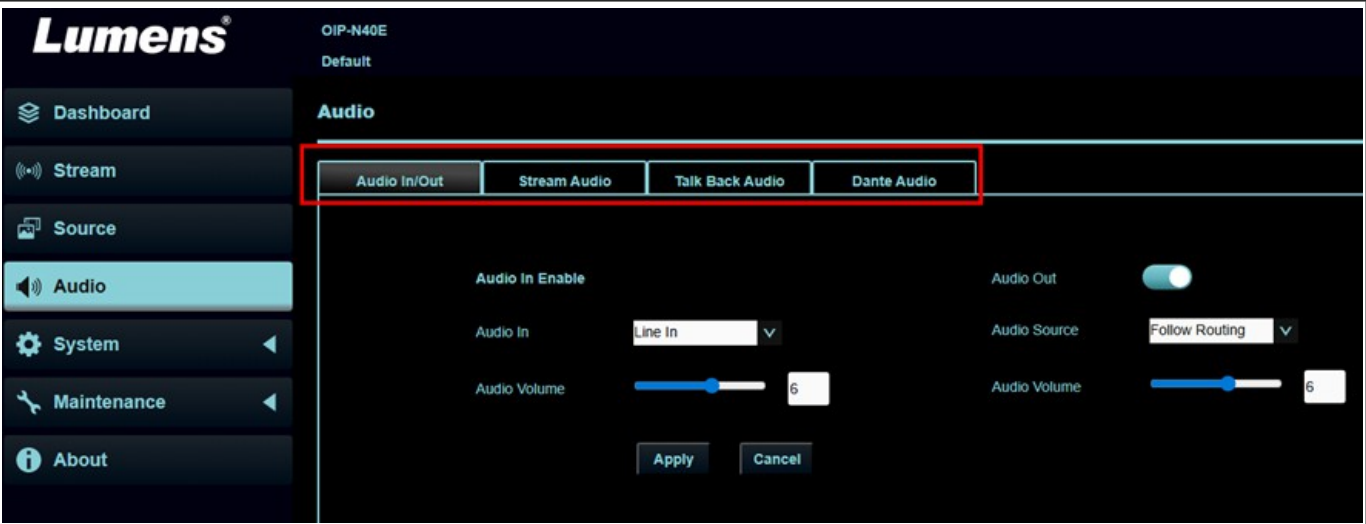


Dante機能を有効化した後、OIPユニットがDante Controllerで認識されるようにするには、以下の手順に従ってください：

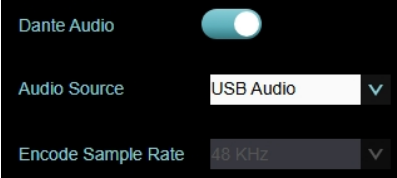
1. ユニットのウェブページにアクセス
2. [Source]セクションに移動
3. ソースとして[Dante AV-H]を選択
4. [Play]をクリックしてストリームを有効化してください

備考：Playボタンが有効化されていない場合、デバイスはDante Controllerによって正しく検出されません。

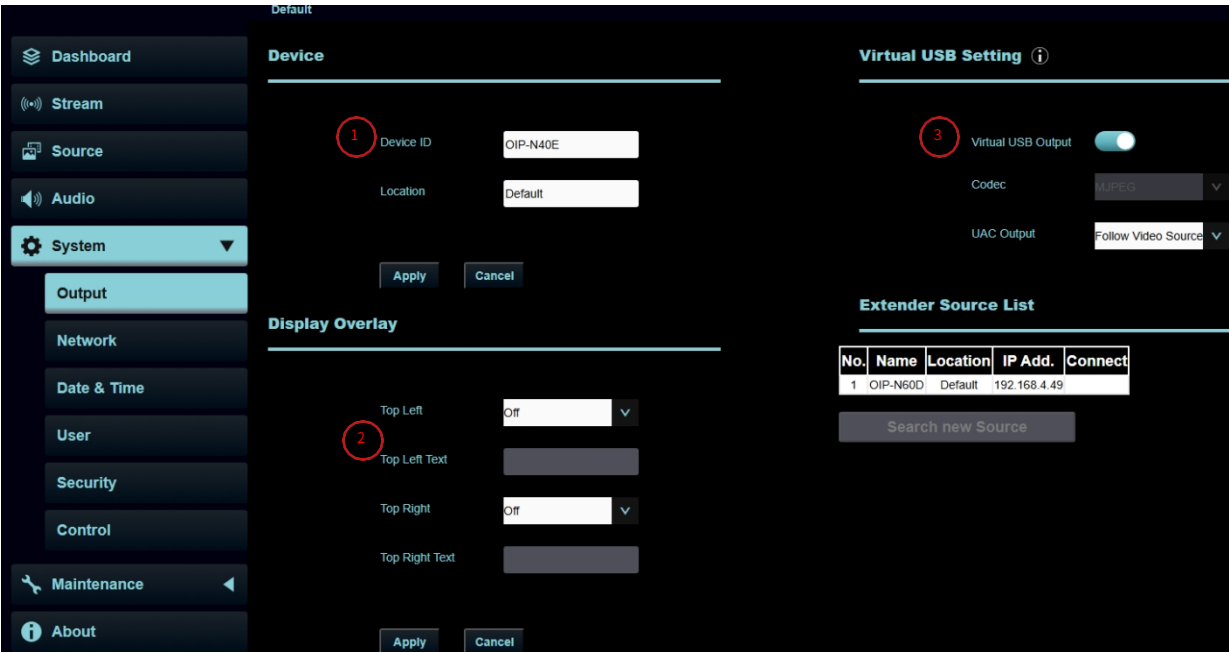
6.3.4 オーディオ



	項目	説明
1	オーディオ入力/出力	Audio In Enable Audio InLine In Audio Volume6 Audio Out Audio SourceFollow Routing Audio Volume6 ■オーディオ入力：ライン入力/ マイク入力 ■オーディオ出力: オン / オフ ■オーディオ出力ソース: ルーティング追従 / ストリーム / Dante ■オーディオボリューム：0～10
2	オーディオストリーム	Stream Audio Audio SourceHDMI/DP In Encode Sample Rate48 KHz ■ストリームオーディオ：有効/ 無効 ■オーディオ入力：HDMI入力 / DisplayPort入力 / オーディオ入力/ USBオーディオ ■エンコードサンプリングレート：48 / 44.1/ 16KHz
3	トークバックオーディオ	Talk Back Audio Audio SourceAudio In Encode TypeAAC Encode Sample Rate48 KHz ■トークバックオーディオ：オン/ オフ ■オーディオソース：オーディオ入力/ USBオーディオ ■エンコードタイプ：AAC ■エンコードサンプルレート：48KHz

4	Dante オーディオ (Danteライセンス有効化後)	 ■ Danteオーディオ: オン / オフ ■ オーディオソース: HDMI入力 / DP入力 / オーディオ入力 / USBオーディオ ■ エンコードサンプルレート: 48KHz
---	--	--

6.3.5 システム出力

		
	項目	説明
1	デバイスID/場所	デバイス名/場所 ■ 名前は1～12文字に制限されます ■ 場所は1～11文字に制限されます ■ 文字には大文字、小文字、数字を使用してください。「/」や「スペース」などの特殊記号は使用できません Note この項目を変更すると、Onvifデバイス名/場所が変更されます。
2	オーバーレイ表示	「日付と時刻」または「カスタムコンテンツ」の表示位置をカスタマイズし、出力画面の左上または右上に表示されます。
3	仮想USB設定	仮想USB出力: 有効 / 無効 コーデック: MJPEG UAC出力: OFF / ビデオに追従 / Danteに追従 / ルーティングに追従
4	エクステンダソースリスト	ネットワーク内で利用可能なエクステンダソースデバイスを表示します。

6.3.6 システム - ネットワーク

Dashboard

Stream

Audio

System

Output

Network

Date & Time

User

Maintenance

About

Network

1

DHCP

IP Address

192.168.4.32

Netmask

255.255.255.0

Gateway

192.168.4.254

DNS

0.0.0.0

MAC Address

dc:e2:ac:03:50:46

2

HTTP Port

80

Apply

Cancel

6.3.7 システム - 日付と時刻

Dashboard

Stream

Audio

System

Output

Network

Date & Time

User

Maintenance

About

Date & Time

Time in Device

Date

2000/01/01

Time

05:30:53

Time Setting

Set Manually

Date

2023/11/13

Hours

13

Minutes

58

Seconds

33

Apply

Cancel

機能の説明	
現在のデバイス/コンピュータの日付と時刻を表示し、表示形式と同期方法を設定します	
[Time Setting]で「Set Manually」を選択した場合、日付と時刻をカスタマイズできます	

6.3.8 システム - ユーザー

Dashboard

Stream

Audio

System

Output

Network

Date & Time

User

Maintenance

About

User

Edit

DEL

	User Name	Authorization Mode
☐	admin	Administrator
+		

機能の説明

ユーザーアカウントの追加/変更/削除

- ユーザー名とパスワードは4～32文字まで対応
- 文字は英字（大文字・小文字）または数字を使用してください。特殊記号やアンダースコアは使用できません
- 認証モード：新規アカウントの管理権限を設定ユーザータイプ

	管理者	閲覧者
閲覧	V	V
設定/アカウント 管理	V	X

※工場出荷時設定へのリセットを実行すると、ユーザーデータが消去されます

6.3.9 システム-セキュリティ

Dashboard

Stream

Source

Audio

System

Output

Network

Date & Time

User

Security

Control

Maintenance

About

Security

HTTP Authentication

Digest

802.1x Setting

Enable☐

EAP Identity

EAP Password

EAP Method

PEAP

Import

Choose File

CA Certificate

Issuer DN

Subject DN

Available Period -

機能説明

HTTP認証：ダイジェスト／基本／無効から選択

802.1x設定：有効／無効

6.3.11 メンテナンス-アップデート

Dashboard

Stream

Source

Audio

System

Maintenance

Update

Reboot

About

Maintenance

1 [Click here to check the latest firmware.](#)

Firmware Ver. OIA1.19

2 Firmware Update

....

Upgrade

3 Factory Reset

Reset

☐ Except the network settings

4 Setting Profile

Save

Load

5 Log

Export

3	工場出荷時設定へのリセット	すべての設定を工場出荷時のデフォルト設定にリセットします
4	設定プロファイル	設定パラメータを保存します。ユーザーはデバイスの設定パラメータを保存および読み込みできます
5	ログ	直近の期間の記録を含むログファイルをエクスポートします。

6.3.12 メンテナンス - 再起動

	項目	説明
1	再起動	ボタンをクリックしてユニットを再起動します
2	再起動のスケジュール設定	スケジュールを無効化: スケジュール再起動機能をオフにします。 毎日再起動時刻: ユニットが自動的に再起動する正確な時刻を設定します。(時刻設定セクションでSNTPが選択されている場合にのみ有効化可能) 再起動間隔: 再起動の間隔を1~24時間で設定します。

6.3.13 機能説明

機能の説明	
OIPのファームウェアバージョン、シリアル番号、その他の関連情報を表示します技術サポートが必要な場合は、 右下のQRコードをスキャンしてサポートを受けてください	

第7章 トラブルシューティング

この章では、OIPの使用中に発生する可能性のある問題について説明します。問題が発生した場合は、関連する章を参照し、提案されている解決策をすべて実行してください。それでも問題が解決しない場合は、販売代理店またはサービスセンターにお問い合わせください。

No.	問題	解決策
1.	OIP-N40Eが信号源画面を表示できない	1. ケーブルが完全に接続されていることを確認してください。第4章「製品の適用と接続」を参照してください 2. 入力信号源の解像度が1080pまたは720pであることを確認してください 3. USB-Cケーブルは、転送速度10Gbps以上の仕様の使用を推奨します
2.	OIP-N40E Webページ USBエクステンダが同一ネットワークセグメント上のOIP-N60Dを検出できない	1. OIP-N60D の USB エクステンダ機能が有効になっていることを確認してください 2. ネットワーク内の管理スイッチでマルチキャストバケットのブロッキングが無効になっていることを確認してください
3.	USB-C ケーブルの推奨仕様	転送速度 10 Gbps 以上
4.	推奨スイッチ設定	OIP-N製品をネットワークスイッチで使用する場合、以下の設定を推奨します： 1. すべてのポートが1Gbps伝送をサポートするスイッチを選択してください 2. QoS（Quality of Service）をサポートし、4つのキューと厳格な優先順位を持つスイッチを使用してください。100Mbpsと1Gbpsのデバイスが同一ローカルネットワーク内に存在する場合は、QoSを有効にする必要があります。 4. IGMPスヌーピングを有効にする 5. 管理対象スイッチ（レイヤ2以上）の選択を推奨します 6. EEE（省電力イーサネット）や類似の省電力機能は無効化することを推奨します

第8章 安全に関する注意事項

本製品の設定および使用時には、常に以下の安全上の注意に従ってください：

1 操作

- 1.1 推奨される動作環境で、水や熱源から離して製品をご使用ください。
- 1.2 傾斜した台車、スタンド、テーブルの上には置かないでください。
- 1.3 ご使用前に電源プラグのほこりを拭き取ってください。火花や火災を防ぐため、製品の電源プラグをマルチプラグに差し込まないでください。
- 1.4 本体のケースにある通気口や開口部を塞がないでください。これらは通気性を確保し、製品の過熱を防ぎます。
- 1.5 カバーを開けたり取り外したりしないでください。危険な電圧やその他の危険にさらされる可能性があります。修理はすべて、資格を持つサービス担当者にご依頼ください。
- 1.6 以下の状況が発生した場合は、製品の電源プラグをコンセントから抜き、認定サービス担当者による修理を依頼してください：
 - 電源コードが損傷またはほつれている場合。
 - 製品に液体がこぼれた場合、または製品が雨や水にさらされた場合。

2 設置

- 2.1 安全上の理由から、使用する標準マウントがULまたはCE安全認証に準拠していることを確認し、代理店認定の技術者によって設置されるようにしてください。

3 保管

- 3.1 コードを踏まれる可能性のある場所に本製品を設置しないでください。コードやプラグの断線や損傷の原因となります。
- 3.2 雷雨時や長期間使用しない場合は、本製品のプラグをコンセントから抜いてください。
- 3.3 振動する機器や高温になる物の上に本製品や付属品を置かないでください。

4 お手入れ

- 4.1 清掃前にすべてのケーブルを外し、乾いた布で表面を拭いてください。アルコールや揮発性溶剤は使用しないでください。

5 電池（電池式製品または付属品用）

- 5.1 電池交換時は、同種または同型の電池のみをご使用ください
- 5.2 電池または製品を廃棄する際は、お住まいの国または地域の電池または製品の廃棄に関する指示に従ってください

■ 注意事項

	この記号は、本機器が感電の原因となる危険な電圧を帯びている可能性があることを示します。カバー（または背面）を取り外さないでください。内部にはユーザーが修理可能な部品はありません。修理は認定サービス担当者にご依頼ください。		この記号は、本製品に付属の取扱説明書に重要な操作および保守に関する指示が記載されていることを示します。
---	--	--	---

■ FCC 警告

この機器は、米国連邦通信委員会（FCC）の規則第15部に準拠し、クラスBデジタル機器の制限に適合していることが試験により確認されています。FCC規則。これらの制限は、住宅環境における有害な干渉から合理的な保護を提供するために設計されています。本機器は無線周波エネルギーを発生・使用し、放射する可能性があります。取扱説明書に従って設置・使用しない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす恐れがあります。ただし、特定の設置環境において干渉が発生しない保証はありません。本機器がラジオやテレビの受信に有害な干渉を引き起こしている場合（機器の電源をオフ/オンすることで確認可能）、ユーザーは以下の対策のいずれかまたは複数を試み、干渉の解消を図るよう推奨します：

- 受信アンテナの方向や設置場所を変更する。
- 本機器と受信機の間隔を広げる。
- 受信機が接続されている回路とは異なる回路のコンセントに本機器を接続する。
- 販売店または経験豊富なラジオ／テレビ技術者に相談してください。

注意：

適合性責任者が明示的に承認していない変更または改造は、本機器の操作権限を無効にする可能性があります。

本機器は、FCC規則第15部に準拠したクラスBデジタル機器の制限値に適合することが試験により確認されています。これらの制限は、住宅環境における有害な干渉から合理的な保護を提供するためのものです。

■ IC警告

このデジタル機器は、無線ノイズ放射に関するクラスBの制限値を超えていません。
カナダ産業省の「デジタル機器」と題する干渉発生機器規格ICES-003に規定されるデジタル機器からの放射。

このデジタル機器は、カナダ産業省が制定した妨害機器規格「デジタル機器」NMB-003に規定されるクラス B デジタル機器に適用される電波妨害の制限値を遵守しています。

著作権情報

著作権 © Lumens Digital Optics Inc. 無断複写・転載を禁じます。

Lumens は、Lumens Digital Optics Inc. が現在登録申請中の商標です。

Lumens Digital Optics Inc. によるライセンスが提供されていない場合、このファイルの複製、転載、送信は許可されません。ただし、本製品購入後のバックアップを目的とした複製は例外とします。

製品の継続的な改善のため、本ファイルの情報は予告なく変更される場合があります。

本製品の使用方法を完全に説明または記述するため、本マニュアルでは、権利侵害を意図することなく、他の製品名や会社名を参照する場合があります。

保証の免責事項：Lumens Digital Optics Inc. は、技術的、編集上の誤りや脱落について責任を負わず、また、本ファイルの提供、本製品の使用、操作に起因する偶発的または関連する損害について責任を負いません。